令和6年度 大湊高等学校 学校経営方針

校　訓

「真理と正義」 「自主と責任」 「敬愛と協同」

目指す学校像（スクール・ミッション）

総合学科の特長を生かし、生徒一人一人の興味・関心や進路志望に応じたきめ細かな教育活動及び自己の在り方・生き方を考察させるキャリア教育を通して、個性を生かしながら社会貢献に取り組む態度を養うとともに、外部人材と連携した多様な学びや部活動を推進し、主体性と他者を尊重する心を育み、情操豊かで社会の発展を担う人財を育成します。

生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

〇世界を広げるための確かな学力【学習力】
〇自分らしさを愛する気持ち【自己肯定感】
〇苦手なことにも挑める強さ【挑戦力】
〇多様な他者と協力する姿勢【協調性】　　を育成する

具体的な取組

1）魅力的な授業の実施　【授業で生徒を育てる】

・グランドルールの徹底（年度当初に学校全体で生徒に伝える）
・「評価」の適正化（客観性を持たせる・評価規準の周知・パフォーマンステストの実施）
・教材研究と教授方法の研究（ICT のプラス面マイナス面を見極める・教材の共有、利用）

2）総合学科としての豊かな学びの構築 【日本一の総合学科を目指して】

・系列を超えた自由選択群の設定（自由な発想で挑戦を）
・生徒の系列、科目選択への支援（丁寧な説明、面談、決定のプロセスを踏む）
・高い専門性を有する講師の積極的活用（特別非常勤講師ほか）

3）授業以外の学びの充実 【主体的な学びのチャンス】

・探究活動の充実（全ての教員が当事者意識を持つ）
・外部資源の活用（地域を巻き込む）
・部活動、委員会活動の活性化（転換期の部活動の在り方を探る）
・活動の主体を生徒に（教員がやりすぎない）
・レジリエンス（打たれ強さ）の育成（失敗のままで終わらせない）

4）多様な生徒への支援 【多様性を力に】

・合理的配慮の推進
・成績上位者をさらに伸ばす取組
・SSW、SC 等の活用　保護者、中学校との連携
・生徒同士の助け合う力、学び合う力の支援

5）コミュニケーション能力の育成 【言語能力・非言語能力の両方を育てる】

・「読む」力、特に「書く」力の育成
・適切な音量で、単語ではなく文章で「話す」指導
・相手の話をきちんと「聞く」態度の育成
・対人スキル、問題解決法など非言語領域を含めた総合的コミュニケーションスキルの育成